

看護実践・キャリア 支援センター通信



2018年
7月

医学部看護学科 看護学科長 石澤 美保子先生
副センター長就任のご挨拶



Vol.14



飯田順三前学科長兼副センター長の後任として4月から副センター長に着任いたしました。看護実践・キャリア支援センターは、立ち上げの準備段階から成人看護学の教授として開設を期待しておりました。そして2014年4月の開設からこの4月で4年目に入りました。振り返りますと1年ごとにその活動が活発になり充実した事業内容を積み重ねておられるように感じます。これもひとえに、高橋美雪センター長をはじめセンターにおられる皆様の志と努力の賜物と拝察いたします。

あらたに副センター長として、看護師、看護学科学生の高度な看護実践とキャリア支援のためにできることを皆さまと一緒に考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。



看護実践教育

特定行為研修 在宅コースが始まりました

特定行為研修の学習をすることで、看護師が患者さんの状況を見極めながら、医師の作成する「手順書」に基づいてタイムリーな対応が可能になります。少子高齢化、医療費の増大、慢性病の増加などの問題の中、在宅の役割が見直され、特定行為の必要性・期待が高まっています。

本学では平成28年度から急性期コースの特定行為研修を行ってきましたが、今年度から在宅コース（4区分）を新設いたしました。今年度8名の受講生を迎え、机上学習、演習、11施設への実習と皆さん勤務をしながら頑張っています。

高齢化・へき地医療など奈良県の在宅を支える看護師になってみませんか!?

興味のある方はお気軽に看護実践・キャリア支援センターまでご連絡ください。

内線2184（今川・湯山）までお待ちしております。



平成30年度特定行為研修急性期・在宅コース開講式



チェンマイ大学との学術協定による国際交流事業



皮膚・排泄ケア看護外来



NICU・GCU



ICU



高度救命救急センター



感染管理室



小児センター



看護部の概要説明



かしの木園視察



明日香養護学校訪問



南奈良でドクターヘリの見学



訪問看護・訪問診療の現場にも



チームチェンマイ



修了証を手に看護部長と



修了式に医大で交流のあった皆さんが集まりました

6月4日から3週間、タイのチェンマイ大学病院から2名の看護師が研修に来られました。

附属病院内の小児看護と救急看護の専門領域を中心に各部署での研修と、院外の医療・福祉施設を訪問しました。病院を含め、地域での医療、福祉、教育の連携の様子を見学し、退院後の地域での暮らしを継続的に支える体制に、感動されていました。研修にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

研修生から医大の皆さんへメッセージ

Miss Kraiwan Kaphan (ノイさん)



チェンマイ大学病院
小児看護部 看護師長
Advanced Practice
Nurse (APN)

私は、今回初めて日本を訪問し、日本をとっても好きになりました。なぜなら、日本は長い文化の歴史と、進んだ技術を持ち合わせたとても美しい国だからです。日本は、自然や寺社、史跡のような昔からの文化的・歴史的な魅力があり、また、人々は貴重な文化を守っています。そして、日本の人々は、とても礼儀正しく親しみやすいです。奈良医大のみなさんは、とてもよくしてく

れました。温かく受け入れていただいたことにとっても感謝しています。

奈良医大では、多くの部署を訪問しました。高度な技術と先進的な治療、子どもの特別支援、患者とその家族への人間的なケアについて学びました。奈良医大には、小児のケアを継続的に行っていくための整ったシステムと効果的なチームがあります。今回の研修は、私の病院でのケアの質向上を考える上で、よい機会となりました。また、今回の研修は、とても有益で興味深いものでした。奈良を見ることで、日本のライフスタイルを知ることができました。日本のすべてが興味深く、それらを楽しむことができました。このプログラムが今後も続くことを希望します。とても感動しました。日本では本当に色々とお世話になり、ありがとうございました。日本での経験を決して忘れません。またいつか、奈良医大を訪問したいと思います。チームチェンマイのみなさん、本当にありがとうございました。



Kraiwan Kaphan
2018年6月27日

Miss Saowanuch Somsri (ベンさん)



チェンマイ大学病院
救急救命室 (ER)
看護師
Emergency Nurse
Practitioner (ENP)

2018年1月26日に奈良医大からの招聘を受けたことをとても光栄に思います。また、奈良医大でこの研修プログラムを受講できたことととてもうれしく思います。

看護部、看護実践キャリア支援センター、国際交流センターのスタッフと、チームチェンマイのご協力に感謝します。みなさんのサポートと通訳は大変役立ち

ました。ありがとうございました。この研修プログラムはとても有益で、奈良医大スタッフの活動や実績にも感銘を受けました。

私たちは、高度な技術と継続的なケア、訪問看護、そして緊急時のヘリコプターによる施設間搬送について、たくさんの知識と経験を得ることができました。このプログラムが、私たちの病院でのケアの質向上に大いに役立つものだと思います。

今回、奈良医大のスタッフが温かく迎えてくださったことをとてもうれしく思います。滞在中も、親しみやすさと思いやりを感じていました。よい経験ができてとても幸せです。このことはずっと忘れません。もし機会があれば、また奈良医大を訪問したいです。本当にありがとうございました。そして、奈良医大とチェンマイ大学の関係がこれからも続くことを願っています。



Saowanuch Somsri
2018年6月27日

発達障害の理解と対応研修&コンサルテーション



人の性格の作られ方は…

5月12日に、人間発達看護学教授飯田順三先生と、臨床心理士の田中尚平先生より、講義をして頂きました。今回初めての試みで、個別相談にも応じて頂きました。

発達障害についてスペクトラム（連続体）という概念で理解し、性格が発達の問題かに捉われずに関わっていくことが大事だと学びました。感情コントロールやコミュニケーションのコツについて、ヒントが得られた研修となりました。



看護学科2年生へのキャリアデザインプログラム



看護師のキャリアとは…

7月11日（水）、看護学科2年生を対象にキャリアデザインプログラムの研修が実施されました。「看護のキャリア形成-キャリアシステムについて-」の内容で、高橋美雪看護部長兼看護実践・キャリア支援センター長に講義をしていただきました。

キャリア発達の段階について、キャリア発達の深度やキャリア形成におけるタイプなどを詳しく説明していただきました。2年生はキャリアシステムの具体的な内容を知ることができ、これから始まる臨地実習（基礎看護学実習Ⅱ）前に、自己の将来像を考える機会となりました。

地域貢献研修

認知症予防及び認知症を持つ患者への対応力向上研修



6月30日に看護学科 老年看護学 澤見一枝教授、附属病院の認知症看護認定看護師である池内勝継さん、山本妙子さんを講師に院内・地域の看護師を対象に 研修会を開催しました。特別講師として“Sota(ソータ)”*にも参加していただきました。認知症の基礎知識・認知症看護の考え方に関する講義や音楽療法士の方々もお招きし、地域での取り組みを紹介していただきました。また、事例をもとに対処方法についてグループワークを行い、受講者から



*ソータはコミュニケーションロボットです

は「音楽療法を早速取り入れたい」「認知症・せん妄患者との関わり方、コミュニケーションのとり方がわかった」など、今後、日々のケアに活用していただける内容が多くきかれました。



今後のセンター事業

☆「復職支援サロン」

日時:平成30年9月3日・14日 11:00~13:00

☆「急変時対応研修《在宅編》」

日時:平成30年9月15日 10:00~15:00

☆「音楽療法のひととき」 新人看護職員対象

日時:平成30年9月27日・28日 16:15~17:15

☆「明日から使える褥瘡予防・治療の知識と技術研修」

日時:平成30年10月13日 10:00~15:00

☆「摂食嚥下障害看護研修」

日時:平成30年11月17日 10:00~15:00

☆「キャリアデザインプログラム 講演会」勝原裕美子先生

(仮)看護職として自らのキャリアデザインを描く

日時:平成30年11月28日 17:00~18:30

☆「がん放射線療法看護研修」

日時:平成30年12月1日 10:00~15:00